

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	9
サポートクラス	ダンサー	Lv.1:	ダンサー	性別	男
称号クラス				年齢	25
種族	ネヴァーフ			境遇	傷病
出自 (効果)	学者			目標	正義

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	19	23	16	8	9	8	6
ボーナス	6	7	5	2	3	2	2
クラス修正	1	1	2	0	0	1	1
他修正							
能力値	7	8	7	2	3	3	3

HP	99
MP	62
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ソードストッパー					9			-2
左手	スロースターター	至近	-1	15	0	0	0	-4	0
頭部	ゴールドヘルム				-1	6			
胴部	スタデッドメイル					6			-1
補助	ミスリルポイントアーマー				-1	6			-1
装身具									
能力値			8	0	7	0	3	10	12
スキル	フェイス：アーケンラーヴ		1						
その他	オートガード					4	2		
総計(右)			9	0					
総計(左)			8	15	5	31	5	6	8
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	3			3	+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
香水	
クイックバンド	
肉	
轟炎豆腐	
MPpo	
MPポーション	
ハイHP	
ハイHP	

現在重量：	16	所持金：	25694	預金・借金：	
最大重量：	19				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
テクニクマスター	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：	器用基本値+3							
バッシュ	5	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果：	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
スラッシュブロー	2	3	ダメ口直前	-	自身	自動	シーン一回	
効果：	ダメージを(SL×2)D							
シールドストライク	3		パッシヴ	-	自身	-		
効果：	武器を使用した命中判定に+SL、白兵攻撃に2SL							
ステップ:アース	3	4	セットアップ		自身	自動		
効果：	物理防御力と魔法防御力に+3SL							
アームズマスタリー	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	剣や斧の命中+1D							
オートガード	2	-	パッシブ		自身	自動		
効果：	物理防御力にSL×2、魔法防御力にSL追加							
ダンシングヒーロー	1		判定の直前		自身	自動	シーン1回	
効果：	判定に+1d							
ボルテクスアタック	1	-	武器攻撃と同時に	武器	自身	自動	シナリオ1回	
効果：	CL×10のダメージを追加							
ディフェンダー	4	3	マイナー		自身	自動		
効果：	物理防御力にSL×3 (シーン中)							
カバーリング	1	2	ダメ口直前		単体	自動	防御中1回	
効果：	行動済みでもカバーできる							
シールドスラム	1		パッシブ		自身	自動		
効果：	白兵攻撃に盾の重量をプラス							
カバームーブ	2	4	カバーリング		自身	自動		
効果：	カバーリングの射程を20mに							
アスレチック	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：	筋力判定+1D							
アイデンティファイ	1							
効果：								

親が使う資料を運ぶのを手伝っているときに階段から落下して頭を斧に強打。25針縫う大怪我を追い、生死の境をさ迷う。斧を手に目覚めたときには「正義」以外のすべての感情を忘れていた。生死の境をさ迷っていたとき神より正義の戦士として戦うことを定められたものの、ゴギガ・ガガギゴは斧を振りステップを踏む筋力を得ることと引き換えに全てを忘れてしまっている。本能で踊るクラブステップとボックスだけで酒場を渡り歩き金を稼ぐ。

====追加要素====
 エライトが家族と交流する姿を見るうちに、ゴギガは臍気ながら記憶を取り戻す。「そういえば、俺にも家族がいる気がする」
 泊まる宿泊まる宿に届く金の入ったゴギガ宛の手紙。初めて手紙を開いてみれば、そこにはゴギガの両親を名乗る人間からのゴギガを心配するメッセージが書かれていた。「お前は身体が弱いから」「内気なところがあるから」
 彼らの心配する「お前」は、今のゴギガとはまるで違う男のようだ。ならば、神はなぜ、「お前」を選んだのだろう。

====追加事項====
 ゴギガには才能がありません。
 親は優秀な錬金術師なのに、ゴギガには錬金術の才能がありませんでした。だからといって足が早いわけでも、腕っぷしが強いわけでも、話が上手なわけでもありません。言われたことさえ、うまくできません。ゴギガには友達がありません。話しかけてもらえても、ゴギガはうまく答えられません。面白いことが言えません。思っていることを言葉にできません。

